



レベルアップをねらって  
特訓中バレーボールクラブ

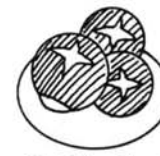
人口の動き ■人口 2,843人(△6) 男 1,427・女 1,416 ■世帯数 784(+1)  
④.9.30現在) ■9月中のうごき □出生0 □死亡1 □転入1 □転出6

## お知らせ

### 普及所から 農改コーナー

#### VALQUINT (MS1)

※ごはんのよき再発見※  
新米のおいしい時期を迎えました。炊きたての味と香りは最高です。生産者また産地だからこそ味わえるぜいたくな食事です。  
「日本型食生活をみなおそう」という言葉は、主食のごはんプラスおかずの組み合わせの中に栄養的にも伝統的にもすぐれたよきがある日本食を見直すという意味です。



ゆかりをまぜた  
ごはんをピンポン  
玉位にする

のり¼、チーズ¼、ハム¼をかき  
ね、ゆかりごはん玉をのせる  
(ラップを使うとにぎりやすい)

↓  
十文字を入れる  
(梅肉やたくあんでもよい)

#### いさばくおこし

### ライスカツ

ごはんにゆかり、枝豆をまぜ小判型にしてのり1枚でまく  
↓  
小麦粉・卵・水の衣をつけパン粉をつける  
↓  
油できつね色にあげる  
(切ってもりつける)

### ※オープン等で焼く

チーズ	エビ・とり肉・ピーマン・人参・きのこをバターでいため塩とコショウ・しょう油で調味する
いためた具	
牛乳味噌	ごま油(小2)を熱しきざんだ赤とうがらし(1本)・みそ(50g)・牛乳(50cc)をねる
ごはんピザ	

あなたの腕じまんごはん料理を家族や仲間・地域で交換してみましよう。楽しく、おいしくそして有意義な活動となります。

おいしいお米のよさを家族で確認し、また米料理レパードリーもふやしてほしいと思います。ここではおやつ感覚の米料理を紹介しします。

## 児童扶養手当・特別児童扶養手当 制度のご案内

### 〈児童扶養手当〉

父母の離婚などにより、父と生計を同じくしていない18歳未満(障害にあるものは20歳未満)の児童を養育する母などに対して支給されます。

1. 支給対象児童
  - ①父母が離婚した児童
  - ②父が死亡した児童(死亡により年金の受給ができる場合を除く)
  - ③父が一定の障害の状態にある児童
  - ④父が生死不明又は1年以上拘禁、遺棄されている児童
  - ⑤未婚の母の児童(父から認知されている場合を除く)
2. 支給額

月額で児童1人38,220円、2人で43,220円、3人以上の場合1人増すごとに2,000円加算されます。

3. 所得制限  
一定以上の所得がある場合には手当の支給が停止されます。

### 〈特別児童扶養手当〉

精神又は身体に障害のある20歳未満の児童を看護する父若しくは母、または養育者に対して支給されます。

1. 支給額  
政令で定める、1級障害児1人につき月額46,390円、2級障害児は30,930円。
2. 所得制限  
一定以上の所得がある場合には手当の支給が停止されます。  
※詳しくは、役場住民課福祉係へお問い合わせください。

### 印鑑登録……

(届出は住民課へ)

#### くらしのガイド

登録できる印鑑	①一人1個に限られます。②字体(印刻)楷書、行書、草書等。③文字住民票に記載されている「氏名」「氏」もしくは「名」または「氏および名の一部を組み合わせたもの」④大きさは最大25ミリ、最少8ミリ。⑤形は丸、角、楕円、ひょうたん型など。⑥印材は木、竹または象牙、サイ、水牛などの牙や角、水晶など(ゴム印その他変形しやすいもの、既製品、欠損のあるものは登録できません)
印鑑の登録	①登録しようとする印鑑をもって本人がおいでください。②官公署発行の免許書、身分証明書、旅券をもってきてください。③官公署発行の免許証などが無いときは、印鑑登録している保証人が必要です。
印鑑登録証	印鑑登録をしますと、登録した証明として個人の登録番号をつけた印鑑登録証をお渡しします。この印鑑登録証は印鑑登録証明書が必要なき必ず持参してください(手数料200円)。

犬・ねこの引きとり 11月27日(金) 役場 午前10時~11時 持参するもの…印鑑、手数料(1匹1,400円)







### 小学生交歓

#### 錦鯉河川浄化に二役

ことしも西川に一万尾



努力します」と、放流前のセレモニーでエールを交換していました。西川をきれいにする会の地道な活動が実って今年も新川からフランスング水の導入が始まり、昨年より川の流況が良くなっています。またこの放流に参加した六年生は次のように感想を語ってくれました。

**種彦原小学校 六年 佐藤若菜**  
こんな、きれいな川に放される鯉がかわいそう。昔のようなすきとおった川をめざして、運動を続けてもらいたい。

**虫亀小学校 六年 若槻佳美**  
西川が思ったよりきれいなのでおどろきました。あの鯉がずっと生きていくのをうれしです。

**池谷小学校 六年 畔上忠明**  
雨の中、四か所を回って鯉を放流しました。少しよれた川を見て「育つだろうか」、「なぜ鯉は川をきれいにするのか」疑問に思いました。

**竹沢小学校 六年 小川よしみ**  
私が思っていたよりも西川は「きたなかった」です。私達の村の錦鯉で川がきれいになってほしいです。

**東竹沢小学校 六年 川上雅子**  
私達の放流した鯉が来年も、さ来年も生きていけるように、川をきれいにしてほしいと思います。

### 地域おこしを語る 県職員との公開座談会

十月十四日長岡市丁A中越会館で、県の出先機関の職員の研修を目的とした公開座談会が開かれ、およそ二〇〇人が参加して活発な意見交換が行われました。

今回は「わが町わが村のまちづくり・村おこし」と「地域の活性化を考える」をテーマに行われたものです。栃尾市をはじめ三島郡六町村と山古志村の職員それぞれ二人がイベントやまつり、地域間交流や国際交流、地域開発や環境整備、さらに社会教育や環境保護、そして観光の資源化や一村一品運動など各分野での体験談や苦勞話、将来構想、地域の夢などを発表しました。



山古志村職員には過疎化の要因となっているアクセス道路の改良整備や定住条件の整備などの取り組み状況、また、自然保護や環境美化のためふな林の保護育成や花の植栽などの対応策について発言が求められ、坂牧企画係長と若槻経済係長がそれぞれ発表を行いました。

その後、①利雪、克雪などへの取り組み、②市町村のイベント等の開催情報の提供など参加者相互の質疑応答が行われていました。この公開座談会は、地域の課題・問題点を県職員に理解していただくとともに、職員意識改革を図りこれからの地域活性化を推進するうえで、県と市町村がより一層協力を深めるために役立つものと思われれます。

### 四季の山古志 写真コンテスト 村長賞に 木津 清次さん

「こんな風景が」と隠れた山古志の風景を発見したり、四季の行事などを写し、村民を楽しませてくれる「四季の山古志」写真

コンテストの入賞作品が決まりました。このコンテストには、県内外から昨年の七五点を大幅に上回る二一三点の応募がありました。とくに今年も新潟市内のカメラマンの応募が多く見られました。村長や日本写真家協会の羽賀康夫さんが審査の結果、村長賞は木津清次さん、毎日グランプリ賞は清水常三さんの作品がそれぞれ選ばれました。

入賞者は次の通りです。(敬称略)

村長賞

「闘牛」

木津清次 (長岡市)

毎日グランプリ賞

「孫は何処に」

清水常三 (長岡市)

県知事賞

「開いて終えて(秋の道)

水野雅夫 (長岡市)

県観光協会会長賞

「泳ぐ宝石」

内田政雄 (長岡市)

なお、ことしも、このコンテストの入賞者を入れたカレンダーを五〇〇部作成し、有料で頒布することにしました。

カラー印刷、値段は一部一、五〇〇円の子定です。

ご希望の方は早目に役場産業課に申し込んでください。

### 少年の主張

#### 「ゴミの再生利用」で

##### 斉藤千都乃さん優秀賞



さる八月二十五日少年の主張長岡、栃尾、三古地区大会が栃尾市民会館で開かれました。山古志中学校を代表して、三年の斉藤千都乃さん(虫亀、五十嵐金治さん方)

が堂々と発表して優秀賞を受賞しました。また、書類審査の結果、三年の佐藤ゆかりさん(竹沢、達男さん方)が奨励賞を受賞しました。

この少年の主張は、中学生が日々考えている清新で建設的な意見を発表するもので、この地区大会で管内の中学生代表一四人がおおぜいの関係者の前で発表を行いました。

千都乃さんは「再生利用について」と題して、今日大きな社会問題になっている、ゴミ処理を取りあげました。発表内容は次のとおりですが、一部割愛させていただきます。

「再生利用」皆さんはこの言葉についてどんな印象をもっているでしょうか。現在地球では、環境問題が上げられています。その環境問題の解決策の一つとして再生利用が増えてきています。再生利用されているものとして、どんなものが上げられるでしょうか。この紙を見てください。これは再生紙です。

まず、一つ目は再生紙です。私達の身の回りで目につくものは、新聞紙、洗濯用洗剤の容器です。この容器については、最近テレビのCMでこんな言葉を耳にします。

「この商品は再生紙を利用しています」。私にはこの言葉が日に日に増加していくような気がします。ですが、まだまだ限られた商品だけです。身の回りをよく見回してみれば、他にも再生紙を利用してき

る物はたくさんあると思います。一つ目は発泡スチロールの再利用です。これはリサイクル的なやり方ですが、限られたスーパーなどでしか見ることができません。私は、特に発泡スチロール等は燃やすととても有毒なガスが出たり

して、環境破壊につながると思うからです。だから、もったなくさんのリサイクルの場を作って、再生利用していくべきだと思います。

二つ目は空き缶のリサイクルです。私たちの村、山古志村では道路の回りの空き缶の投げ捨てがよく目立ちます。こうした空き缶の投げ捨てをやめ、リサイクルに積極的に取り組むことによって、だんだんよい方向に進んでいくのではないのでしょうか。しかし、そのリサイクルでも、リサイクル用の空



き缶をつぶす機械は全国でも数少ない地域にしか設置されてなく、まだまだ足りないように思います。数日前、私を「ぞっと」させるようなテレビ番組を見ました。それは、東京湾を埋め立てて作られた「夢の島」がゴミに埋もれ、もうこれ以上ゴミを置けない状態に

なっていましたということ。人間は一年間におびたしい量のゴミを出します。現在の日本には何億もの人が住んでいます。今のままゴミが増え続けたら地球はどうなるでしょうか。しかし大半の人は再生利用のテレビ番組を見て、何げなく聞き流すことだと思います。でもこんなことでよいのでしょうか。

現代は大量生産、大量消費の時代と言われています。「私一人だったら」という考えはもうやめてほしいと思います。この考えを皆がもつたら、地球が破壊されていくことは目に見えています。「誰かがやってくれる」という考えは捨て、まず自分から再生利用を進めていかなければなりません。

私達の地球です。私達が守らなければ誰が守ってくれるでしょうか。もちろんそんな人はいませんが、もつともつと一人一人が自覚していかなければなりません。そのために、再生利用は増やしていくべきです。そして二〇年後、三〇年後の地球をより発展させ、より良い時代にすることが、私達の手にかかっているのです。未来は私達のもので、自分たちでより良い未来を築いていきましょう。

### よい歯の学校で

#### 3校が優良校に

十月二十二日長岡市歯科医師会館で、第二十四回新潟県よい歯の学校運動(中越地区)の優秀校や優良校などの表彰が行われました。児童、生徒の虫歯の増加が問われる中、種彦原、池谷、東竹沢の各小学校が優良校としてそれぞれ表彰されました。種彦原、池谷小学校は二年連続の受賞です。

また、村内の小・中学校で組織する「山古志郡学校保健会」が、昨年に引き続き優良保健会として表彰されました。

なお、この運動は、県学校保健会、県歯科医師会などの共催で行われ、中越地区から二つの学校保健会が表彰を受けました。



給食後のハミガキ(種彦原小)



